

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度 未来戦略創出会議(第4回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和4年9月1日(木) 14時00分～15時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はZoom会議にて参加
議題		(1)令和4年第3回定例会提出予定案件について (2)令和4年度豊島区補正予算(案)について (3)令和3年度各会計歳入歳出決算について (4)池袋第一小学校の竣工について
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 一部資料は、政策形成段階の資料のため非公開。
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・国際文化プロジェクト推進担当部長・総務部長・危機管理監・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・児童相談所設置準備担当部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長(欠席)・区長室長・広報課長(欠席)・総務課長
	説明者	総務部長、財政課長、会計室長、学校施設課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審議経過

(1) 令和4年第3回定例会提出予定案件について

説明者 資料に基づき、令和4年第3回定例会提出予定案件について説明。
説明内容については、資料4-4-1「令和4年第3回定例会提出予定案件」のとおり。
⇒提案の通り決定する。

(2) 令和4年度豊島区補正予算(案)について

説明者 資料に基づき、令和4年度豊島区補正予算(案)について説明。
第三回定例会においては、補正予算を第5号と第6号に分けて、上程する。
第5号補正予算額は、1億3,225万6千円で、前回までの予算額との合計は、1,407億98万5千円となる。財源別、経費別の内訳は資料のとおり。
第6号補正予算額は、10億6,628万7千円で、前回までの予算額との合計は、1,417億6,727万2千円となる。財源別、経費別の内訳は資料のとおり。後期高齢者医療事業会計の補正予算額は、2億9,417万6千円であり、前回までの予算額との合計は、70億5,314万8千円となる。介護保険事業会計の補正予算額は、5億8,890万4千円であり、前回までの予算額との合計は、217億5,624万円となる。債務負担行為は道路維持修繕経費、掘削道路復旧等受託工事経費の2件を追加する。
⇒提案の通り決定する。

※資料4-4-2「令和4年度豊島区補正予算(案)」は、政策形成段階の資料のため、非公開とする。

(3) 令和3年度各会計歳入歳出決算について

説明者 資料に基づき、令和3年度各会計歳入歳出決算について報告。
まず、資料4-4-3-①「令和3年度各会計決算総括説明」から説明する。
令和3年度一般会計の歳入歳出決算状況について、100万円単位で説明する。予算現額は、1,596億400万円、歳入決算額は、1,489億7,300万円、歳出決算額は1,436億9,500万円、歳入歳出差引額、いわゆる形式収支は52億7,800万円、翌年度へ繰り越すべき財源が27億1,600万円、実質収支額が25億6,100万円、基金繰入額についても同額の25億6,200万円となり、実質繰越額はない。

次に、債権別収入未済額及び不納欠損額についてであるが、収入未済額は、4億7,600万円の減、不能欠損額は3億4,600万円の減となっている。

次に、資料4-4-3-②「令和3年度一般会計決算の概要」について説明する。

まず、収支の状況であるが、歳入については平成26年度以降8年連続で1,200億円を上回り、歳入・歳出とも初めて1,500億円を超えた令和2年度に次ぐ過去2番目に高い額での決算となっている。

続いて歳入の状況であるが、特別区税は収入済額が345億3,100万円と過去2番目である。特別区交付金は336億1,100万円であり、対前年度比12.9%増である。

国庫支出金については、対前年度比 22.2%減の、額では 413 億 1,100 万円となっている。

最後に歳出の状況であるが、義務的経費は支出済額 703 億 5100 万円で、対前年度比プラス 8.6%となった。このうち人件費は対前年度比マイナス 2.7%、扶助費は対前年度比プラス 15.7%、公債費は対前年度比プラス 8.5%となった。投資的経費は支出済額 145 億 1,700 万円で、対前年度比プラス 7.1%となった。その他の経費は支出済額 588 億 2,600 万円、対前年度比マイナス 18.4%となった。

区長 令和 3 年度は過去最高決算ということになるか。

説明者 過去最大の基金残高 446 億円であるとともに、貯金と借金のバランスも過去最大の貯金超過 218 億円となっており、その意味で過去最高の決算と言える。財政の健全性がより強固となった決算である。

区長 今後も、最小の経費で最大の効果を生み出し続けられるよう努めたい。
⇒報告の通り了承する。

(4) 池袋第一小学校の竣工について

説明者 資料に基づき、池袋第一小学校の竣工について報告。

校舎に緑をまとい、森の中の学校にふさわしい外観である。ひばりがや広場を学校の一部に組み込み、防災機能を維持しつつ地域の方も集える場所となっている。延床面積は従来の 1.5 倍に増えており、建設工事費は約 50 億円である。

各階について簡単に説明する。1 階には、防災拠点としても活用可能なアリーナ等を配置している。2 階以降は教室があるエリアとなっている。普通教室はすべて南側に配置している。教室横のバルコニーは校舎に面しており、陽当たりがよく、運動会等の観覧席にも利用可能である。3 階には普通教室、特別教室、図工室、理科室等を配備している。中央には図書室と学習情報センターがあり、アクティブラーニングや調べ学習等に対応している。4 階には、同じく普通教室を南側に配置しており、家庭科室、音楽室をテラスに面した配置としている。普通教室は最大で 18 クラスの対応が可能である。最上階である 5 階には、プールを配置している。可動の屋根をつけ、周囲の視線を遮りながら、日差しをよけることができる。夏以外の時期には可動式の床を上げ、人工芝の遊び場とすることも検討している。

最後に、その他校舎内の特徴について説明する。初の 5 階建ての小学校ということで、26 人乗りのエレベーターを 2 基整備している。学習情報センターは、解放感を感じられる吹き抜けとなっている。また、玄関ホールには能代産のスギ材を使用しており、温かみを感じられる空間となっている。校舎回りにはグラウンドやビオトープも配備している。

区長 この学校を地域の拠点として、まちづくりを広げていきたい。
⇒報告の通り了承する。

会議の結果	(1)令和4年第3回定例会提出予定案件について (2)令和4年度豊島区補正予算(案)について (3)令和3年度各会計歳入歳出決算について (4)池袋第一小学校の竣工について →(1)(2)について決定、(3)(4)について了承
提出された資料等	・資料4-4-1 令和4年第3回定例会提出予定案件 ・資料4-4-2 令和4年度 豊島区補正予算(案) ・資料4-4-3-① 令和3年度 各会計決算総括説明 ・資料4-4-3-② 令和3年度 一般会計決算の概要 ・資料4-4-4 池袋第一小学校の竣工について ※資料4-4-2は、政策形成段階の資料のため、非公開とする。